

## 第27回全国ホタル研究大会の概要

大会テーマ：『環境のホタル・教育のホタル』

全国ホタル研究会第27回新潟大会が1994年7月1日～2日に、環境庁、新潟県・新潟県教育委員会、長岡市・長岡市教育委員会、小千谷市・小千谷市教育委員会、越路町・越路町教育委員会、日本ホタルの会の後援により新潟県長岡市で開催されました。

今大会は『環境のホタル・教育のホタル』をテーマに、環境・教育の発表を主体に行い、全国各地から多くの皆様に参加をしていただきました。大会開催するにあたり、全国ホタル研究会ならびに後援していただいた関係各位に感謝いたします。なお、大会日程は下記の通りです。

### 記

7月1日（金）

13:00～17:00 見学会

①越路町ホタル発生地

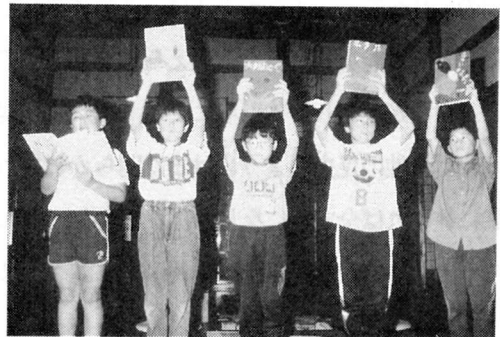
②越後最古の民家である長谷川邸（重要文化財）

地元の塚山小学校児童よりホタル観察について発表してもらいました。

③小千谷市錦鯉の里



発生地の見学



児童による発表

20:00~21:00 よもやま館にて小集会。各地の発生状況の報告等が行われました。

7月2日(土)

《大会》

9:30~ 全国ホタル研究会村上会長挨拶

〈研究発表〉

10:00~	蛍の環境	嶋 倂司
	新潟県におけるホタルの里づくり	永島 和人
	上越市金谷山におけるホタルについて	上越市立城西中学校
	上越市金谷山ホタルの里の水質について	
		上越市立城西中学校科学部
	上越地区のホタルの分布について	上越市立城西中学校
	酸性雨・雪と環境への影響	及川紀久雄
	理科教育にホタルをどのようにとりいれるか	本山文雄
	ホタル復活の輪を生涯教育に	西山 武
	天野川改修工事と水生生物回復の推移	口分田政博
	気象の変化と上陸時の遅れ	矢野和義・宮下忠彦
	ヘイケボタルの地理的分化	鈴木浩文・佐藤安志・大場信義
	ヘイケボタルの上陸幼虫の生態について	笹井昭一・三石暉弥
	沖縄県久米島から発見された新種の水生ホタル	大場信義
	オオマドボタルおよびクロマドボタル幼虫の斑紋パターン	
		後藤好正・大場信義
~16:00	ホタルが生息する意味について	宮下 衛

※発表を予定されていましたが小林 修、小野公男両氏は都合により欠席されました。

## 〈総 会〉

16：00～17：00 よもやま館において第27回総会が行われました。

18：00～20：00 懇親会（よもやま館）

今大会は大会テーマにそった環境・教育を主体に発表がありました。なかでも、上越市城西中学校からは科学クラブの生徒たちによる研究発表が行われました。また、新潟県ホタルの会では今大会を契機に「新潟県ホタル保護指導員」制度を設けました。その目的は、ホタル保護の野外活動のボランティア指導、学校教育現場における指導、地域の自然保護とホタル生息環境の保全思想普及の核となると共に、自然のしくみ、ホタルの生息環境を理解し、自然を大切にする仲間づくりです。7月下旬より「ホタル保護指導員講習会」を行い35名の「ホタル保護指導員」が誕生しました。ホタルを通じての自然保護活動を展開してくれることを期待しています。

この全国ホタル研究大会が新潟で開催されたことにより、県内各方面に多くの影響を与えてくれました。最後に、全国ホタル研究会の益々のご発展と会員各位のご活躍をお祈りします。

（新潟県ホタルの会 事務局）



上越市城西中学校科学クラブの生徒たちによる発表